

한통련 뉴스레터

제37호

発行:在日韓国民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●ソウルで「8・15自主平和統一大会」開催…韓米合同軍事演習・韓米日軍事協力に反対！



全国民衆行動が「韓米合同軍事演習中止 闘争決意大会」を開催

李鐘燮(イ・ジョンソプ)国防部長官は7月29日、米ワシントンでオースティン国防総省長官と会談した。国防部によると、両氏は朝鮮の挑発的な行為に共同で対応し、下半期の韓米合同軍事演習を韓国政府の「乙支(ウルチ)演習」と統合・拡大した「乙支フリーダムシールド(UFS)」として展開するとともに、弾道ミサイル防衛体制や米戦略資産の朝鮮半島展開など抑止力を強化することで一致。韓米の戦略的な意思疎通の強化のため、高官級の拡大抑止戦略協議体(EDSCG)を早期開催することにしたという。国防総省によると、会談では日本を含む韓米日3カ国の安全保障協力が重要との認識でも一致した。

国防部は8月1日に国会国防委員会に提出した業務報告資料で、UFSを危機管理演習、第1部演習(22~26日)、第2部演習(29~9月1日)の3部構成で実施すると説明。合同軍事演習で、戦時体制への迅速な転換とともに、朝鮮による攻撃の撃退と反撃作戦まで一連の流れの習熟を図るとした。

5月の韓米首脳会談では、朝鮮半島やその周辺での合同演習の規模を拡大する協議を始めることで合意。尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権は国政課題として米国との合同演習の強化を掲げ、大規模な野外機動訓練を再開するなど、合同演習を「正常化」す

ると明らかにしていた。

韓米日軍事協力体制の構築とも連結しながら、大規模な韓米合同軍事演習が8月22日から強行されようとしている。バイデン政権のインド太平洋戦略+(プラス)「新冷戦」覇権政策に沿った韓米日軍事協力体制は、その行動領域を朝鮮半島にとどめることなく、インド太平洋へと、さらにはウクライナ事態に関与しながら欧州へと広がる可能性と危険性をはらんでいる。

朝鮮は敵視行為の最たるものである韓米合同軍事演習に反対するのはもちろん、金正恩(キム・ジョンウン)國務委員長(朝鮮労働党総書記)は7月27日の「戦勝節」(祖国解放戦争勝利記念日、朝鮮戦争停戦協定締結日)の演説で、尹政権の「先制攻撃」方針に対し尹大統領を名指しで批判した。

韓国内では各界市民社会団体が7月23日、「韓米日軍事協力反対! 韓日歴史正義実現! 屈辱的対日外交糾弾! 平和キャンドル」をソウル市内の「平和の少女像前」で、「民族の自主と大団結のための第5回祖国統一促進大会」を大統領室がある龍山でそれぞれ開催。韓米合同軍事演習反対、韓米日軍事協力反対を訴えた。停戦協定69周年を迎えた27日にも同趣旨の記者会見が大統領室前で開かれ、8月6日には大統領室前で韓米合同軍事演習の中止を求める決意大会も開かれた。また、労働者、青年による統一先鋒隊の行進や市民によるDMZ(非武装地帯)平和行進も展開されている。こうした多様な運動の成果が「光復77周年8・15自主平和統一大会」(8月13日、ソウル、※参照)に結集する。韓米合同軍事演習と韓米日軍事協力に反対し朝鮮半島の平和を求める声を大きくあげよう。

※韓統連ホームページ 記事紹介 「危機の朝鮮半島、いまは平和のために行動しなければならないとき」各界市民社会団体が「光復77周年8・15自主平和統一大会推進委」を発足 (2022年7月22日)

●与党「国民の力」内紛に尹大統領が関与…権代表職務代行が辞任、非常対策委員会体制へ

大統領室の崔英範（チェ・ヨンボム）広報首席秘書官は7月27日の記者会見で、前日に与党「国民の力」の権性東（クォン・ソンドン）党代表職務代行兼院内代表が、対話アプリで尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領とやり取りした内容が報じられたことについて、「いかなる経緯であれ、私的な対話内容が表に出て、国民やメディアに何らかの誤解を与えたことは望ましいことではない。遺憾だ」と述べた。

権氏は26日の国会出席中に、尹大統領とメッセージをやり取りする様子が報道陣のカメラに捉えられ、その内容が報じられた。尹大統領は「わが党もうまくやっていますね。引き続きこのようにしないと」に続いて「（党）内部に銃を向けていた党代表が交代し、変わりました」とのメッセージを権氏に送った。

国民の力の李俊錫（イ・ジュンソク）代表は、性接待を受けた証拠の隠滅を教唆した疑惑が持たれ、7月に党员資格停止6カ月の懲戒処分を受けた。そのため権氏が党代表職務代行業を兼任。権氏は私的な対話内容が公になったのは全面的に自身の過ちだとして、前日のうちに党员と国民に謝罪した。

一方、李代表は、尹大統領と権氏の対話アプリでのやり取りが公になったことに対し、「羊頭狗肉」だとして不快感を示した。陰で悪口を言うことをあてこする意味で羊頭狗肉を使ったとみられる。

この事態について、第一野党「共に民主党」の禹相虎（ウ・サンホ）非常対策委員会委員長は27日、同委員会会議で、「主張してきたように、李代表の除去は尹大統領と側近らとの共同作品であることが確認された」とし、「大統領が党内権

力闘争に深く関与するのは望ましくない。いまは民生問題に専念すべき」と批判した。

結局、権氏は31日、代表職務代行業を退き、党を非常対策委員会体制に移行させる考えを明らかにした。党執行部は権氏の辞任を受けて協議を開始した。

一方、世論調査会社の韓国ギャラップが29日発表した調査結果によると、尹大統領の支持率は前週より4ポイント下落した28%となった。5月10日の就任後、尹大統領の支持率が30%を下回るのは初めて。対話アプリでやり取りしたメッセージが流出し、与党内のあつれきが深まったことが、不支持の理由に初めて含まれた。

国民の力は3月の大統領選で政権交代を実現させたが、尹政権発足からわずか3カ月足らずで非常対策委員会体制に移行する異例の事態を迎えている。

尹大統領自身の発言から、大統領は李氏の懲戒に関し距離を置いていると思われていたが、事実は逆で、尹大統領と側近らが党から李氏を排除し、親尹体制を構築しようとしたことが明らかになった。

党代表代行の権氏と大統領室秘書官の崔氏は共に、尹大統領の私的メッセージが不用意に公開されたこと、その内容が国民とメディアに誤解を与えたことを謝罪したり遺憾表明した。

しかし、問題はメッセージの内容そのものであり、国民が驚いたのは、大統領が発言とは異なり党内内紛に関わっていた事実である。大統領と与党が協力して国政にあたることは何ら問題ではない。ただ、内紛まで引き起こすような行為は当然、慎むべきである。それが、尹大統領が常に強調する「法と原則」の「原則」だ。

●【記事紹介】2期進歩党を率いるユン・フィスク常任代表「総選挙で第3党へと跳躍」「進歩党が執権すれば民生が変わることを必ず示す」 民衆の声 2022.08.01



進歩党の旗を掲げるユン・フィスク常任代表

進歩党のユン・フィスク常任代表は8月1日、「2024年の総選挙で第3党へと必ず跳躍する」と抱負を述べた。ユン常任代表は任期開始の初日で

あるこの日、ソウル市内の進歩党事務所で開かれた就任式で、2期進歩党の目標をこのように明らかにした。

ユン代表は「2期進歩党は蔚山東区区長をはじめ21人の地方選挙当選者と共に、国民と共に希望を与える新しい進歩政治をつくりだす」とし、「進歩党が執権すれば民生が変わることを必ず示す」と約束した。

また、ユン代表は「無能で無責任な尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権に抗して労働者と庶民の生活を守り抜く」とし、「キャンドル革命前に回帰しようとする反動政治、責任と反省を知らない一方的な政治、経済危機の苦痛を労働者と庶民に転嫁する反労働政治に断固として立ち向かう鮮明な野党となる」と主張した。

ユン代表は労働者の政治勢力化に向けた意志も明らかにした。「生存のために依然として生命をかけて闘わなければならない労働者にとって、政治勢力化は人間らしい生活のために必ず実現すべき課題」だとし、「進歩党は労働中心の進歩政党として進歩政治勢力の団結を実現し、2党（※「国民の力」と「共に民主党」）による既得権政治体制の壁を飛び越える代案政党として跳躍する」と強調した。

最後に、ユン代表は「民主労働党結党から統合進歩党解散、そして再び進歩党結成の過程、どのような困難があっても決して放棄しなかった進歩執権の夢を実現するために、与えられた使命に全力を尽くす」とし、「進歩政治が代案となり、青年と労働者に希望を与えられる新しい時代を切り開く」と決意を述べた。

ユン代表は韓国青年連帯常任代表を歴任し、朴槿恵（パク・クネ）政権退陣を主導したキャンドル集会の司会者として活躍した。

ユン常任代表に加えてチョ・ヨンシン、チャン・

ジンスク、チョン・テフン一般代表、チョン・フィソン労働者党代表、キム・ボンヨン農民党代表、ホン・フィジン青年進歩党代表が2期執行部に選出されている。執行部の任期は8月1日から2年。（※進歩党執行部は常任代表に加えて一般代表3人、進歩党内の労働、農民、貧民、青年、女性・母親の各部門から出される共同代表で構成する。今回は貧民、女性・母親部門は代表を出さなかった）

※ユン・フィスク常任代表のプロフィール

進歩党共同代表、自主平和統一委員長

20代大統領選挙キム・ジェヨン（進歩党の大統領選挙候補）選挙対策委員会 2030（20、30代の青年）事業本部長

朴槿恵政権退陣非常国民行動一千万キャンドル司会者

韓国青年連帯常任代表

原文 <https://vop.co.kr/A00001617227.html>

활동보고 活動報告

●日韓平和連帯が朝鮮戦争・休戦協定締結69周年集会を開催…70周年を平和協定元年に



ハン・チュンモク共同代表のリモート講演

韓統連大阪本部と日本の平和団体などで構成する日韓平和連帯は7月27日、「朝鮮戦争・休戦協定締結69周年 東アジアの恒久平和の実現をめざす7・27大阪集会」を大阪市内のPLP会館で開催した。

日韓平和連帯の山元一英共同代表が主催者挨拶

を行い、韓国進歩連帯の韓忠穆（ハン・チュンモク）共同代表が「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権下における韓日連帯運動の課題」をテーマにリモート講演。韓代表は「尹政権は米国に追従して韓米同盟の強化、韓米合同軍事演習強化・実施など対北対決政策を積極的に行っている。このような状況では南北合意の履行は期待できない」と語った。また「米国の新冷戦戦略は対北、対中敵視政策が核心」と指摘しながら、「今こそ韓日平和連帯運動の強化が求められる。朝鮮半島の平和は東アジアの平和と繁栄につながる。来年の停戦協定70周年を平和協定元年にしよう」と主張した。

●韓青が夏期講習会を開催…民族空間を満喫



バーベキューを楽しむ青年たち

在日韓国青年同盟（韓青）は7月30～31日、滋賀県近江八幡市の「休暇村 近江八幡」で第54回韓青全国夏期講習会（サマーキャンプ2022）を開催した。

開会式後にレクリエーションを実施し、リレー競争などで汗を流した。グループ学習企画では、在日コリアン青年として生きる中で、日本社会に感じる違和感や息苦しい経験について参加者同士で話し合った。夜にはバーベキューや花火、漫才などを楽しみ明け方まで交流した。

開会式では参加者から「久しぶりの全国行事を楽しむことができた」「討論を通じて様々な考えの人と話せて良かった」「本部や世代の垣根を越

えて、語り合うことができた」といった感想が語られ、愛知県本部の趙正春（チョ・ジョンチュン）委員長が閉会あいさつ。趙委員長は「韓青には自らのルーツに真剣に向き合う青年が集まる。活動を通じて『どう生きたいか』を共に考える仲間になろう」と語り、韓青行事での再会を呼びかけた。



宿舎前で記念撮影

●77年目の8月6日を迎え、韓統連広島・韓青中央がアピール



尹康彦副代表委員による報告

「8・6ヒロシマ平和へのつどい2022 被爆・敗戦77年 ウクライナ侵略戦争・世界的軍事緊張・日本の軍拡をやめさせよう！」が8月5日、広島市まちづくり市民交流プラザで開催された。主催は韓統連広島本部も参加する同実行委員会。

韓統連広島本部の尹康彦（ユン・ガンオン）副代表委員は「2022年 朝鮮半島をとりまく情勢」をテーマに発題。尹副代表は「韓国で尹錫悦

（ユン・ソンニョル）大統領が登場し軍事的緊張が高まっている。ウクライナ戦争以降、アメリカ主導による韓米日軍事同盟がNATOとともに、対朝鮮・対中国・対ロシアの包囲網を強化し、軍事面のみならず経済面でも抑え込もうとしている」と述べ、国内で開催される「8・15自主平和統一大会」を紹介。韓日民衆の平和のための連帯行動を訴えた。

ピースデポ代表の湯浅一郎さんが「『軍事力による安全保障ジレンマ』に陥るな！ーウクライナ危機に乗じた軍拡は許されないー」をテーマに記念講演した。

8月6日は原爆ドーム前で行われた「グランドゼロのつどい」に韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長が参加し、「韓米合同軍事演習に在日韓国人青年として反対し、日本の方々ともこれからも連帯していきたい」と力強くアピールした。

행사예정 行事予定

9月

韓統連セミナー(大阪)

日時：9月11日（日）午後2時～ 場所：KCC会館 内容：シリーズ「ウリ現代史セミナー2022ー過去史を見つめなおし、その正しい清算のためにー」第2回「統一か基地国家か」 主催：韓統連大阪本部 連絡先：06-6711-6377

いよいよ8月に入りました。光復節77周年を迎えますが、尹錫悦政権は米国に追従し韓米合同軍事演習を強行しようとしており、民族の解放、祖国統一の流れと明らかに逆行しています。いまこそ私たち民族の力をあわせ、危険な軍事演習に反対しましょう（李）